

メディカルライティング入門コース (MW 入)

参加者の声 ～参加者アンケートより～

■ 前期

- ガイドラインだけでは具体的なイメージがわからない箇所について、治験薬やデザインなど具体例を示して説明、解説していただき、とても分かりやすかったです。
- メディカルライターの役割を改めて認識できました。
- ガイドラインで理解できなかったことが解消されました。
- 参照すべき指針を提示していただき、非常に有益でした。
- なぜそうする必要があるのでという背景を説明していただき、理解が深まりました。
- 演習は、よく練られたリアリティのある設定での質問、選択肢でした。実際のガイドラインでは「何を書くか」に主眼を置いているのに対し、実践として「どう書くか」というチャレンジができたこと、また、解説の際に、その他の資料 M4 や CONSORT を参照しながら、説明いただけだったので、とてもよかったです。

■ 後期

- ガイドラインの表現だけではわかりにくい点を、医学論文の書き方や参考文献などで補足されていたので、実用的で実践的な情報を得ることができました。
- 統計解析など理解が難しい点はありませんでしたが、さらに勉強して理解できるようになると覚悟が決まりました。CSR の書き方そのものというより、E3 で指定された書くべき項目がなぜ必要なのかを説明いただいたのが、大変参考になりました。
- メディカルライティングだけでなく、治験の運営に携わる者として、自分の収集したデータがどのような意味をもって使われることになるかを深く理解することができました。
- 演習では、1) 実際に自分で考える時間を持てたこと、2) 解説を聞いて自分に足りなかった部分や書けていなかった部分を認識できたこと、が良かったです。
- 実践的な演習と、演習に対するフィードバックはとても有意義に感じました。
- CRS の作成ごとに演習内容が移行したので、より実践的だったと感じました。短い時間で簡潔に文書を記載するのは、訓練していく必要があると感じました。